

1-4 スtringスの人数による 音色の違い

まずは聴き比べてみよう！

ジャンル別、ストリングスの人数選定基準

ポップスなどのライトな雰囲気楽曲は少なめの編成、映画音楽などの壮大なオーケストラには大人数編成といった具合に、曲の雰囲気に合わせて選ぼう。

人数が少ないほどサウンドの厚みは乏しくなるが、その分音像がはっきりしたサウンドになり、よりタイトな音色が得られる。逆に、人数が多いほどサウンドに厚みが増す一方、音像がボケてしまう傾向が多い。

人数	サウンドの厚み	音像
少ない	薄い	はっきりタイト
多い	厚い	若干ぼやける

人数別ストリングス音源選びの具体例

最近では、人数ごとに様々な種類のストリングス音源がリリースされている。例えばオーケストラ音源の老舗、Vienna Symphonic Library(通称VSL)の場合は、欲しいサウンドに合わせて以下の5種類の中から選んで使うことになる。

名前	用途	人数
Vienna Solo Strings	ソロ音源	Vn.1、Va.1、Vc.1、Cb.1
Vienna Chamber Strings	室内楽音源	Vn.6、Va.4、Vc.3、Cb.2
Vienna Orchestral Strings	オーケストラ音源	Vn.14、Va.10、Vc.8、Cb.6
Vienna Appassionata Strings	大編成音源	Vn.20、Va.14、Vc.12、Cb.10
Vienna Dimension Strings	人数可変の音源	Vn.8、Va.6、Vc.6、Cb..4の範囲で可変